

修了評価の方法

評価基準作成者： 麻生 敏和

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <p>(2)「介護における尊厳の保持・自立支援」から (9)「こころとからだのしくみと生活支援技術」までの32科目とする。</p> <ul style="list-style-type: none">・使用テキスト(中央法規出版株式会社「介護職員初任者研修テキスト」第1巻、第2巻の全範囲) <p>2 出題形式</p> <p>択一形式および記述形式とする。</p> <p>3 出題数</p> <p>出題数は50問とし、択一問題(50問/配点2点) 全問正解 100点満点</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>100点を満点評価とし、次に記す4区分で、C以上で評価基準を満たしたものとす。</p> <p>A=90点以上、B:89点~71点、C:70点~61点、D:60点以下</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <p>習得状況を確認した結果、評価基準を満たしていない場合(D以下の場合)は、</p> <ul style="list-style-type: none">・結果発表後、直ちに補習(概ね1時間)のうえ再評価を行う。・なお、再評価に係る合格基準はA~C(61点以上)とする。・補講費用:1時間あたり3,000円 再評価料:1,500円(税別) <p>但し、再評価の試験回数の上限は最大2回までとする。従って最終試験の結果、不合格となった者は未修了扱いとなる。</p>
------------	---